

講義名称	文章表現法	担当教員名	三成 清香
科目群	必修(REQ)		
科目区分等	必修科目 CA4 DI2	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	REQ181

授業のキーワード	日本語運用能力 表現力
授業の概要	本講義では学生としてまた社会人として求められる「日本語力」を養うことを目的とし、「日本語」をとらえなおします。日本社会におけるコミュニケーション能力の向上を目指します。
期待される学習成果(目標)	1. 日本語の基本を学び、より適切に運用できるようになります。 2. 日本語について関心を持ち、自らの言葉に意識が向けられるようになります。 3. 大学で必要となる「書く力」を養うことができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法、この授業の意義について説明します。
2	「文法」と日本語の構造①	日本語の品詞と活用を整理しよう。
3	「文法」と日本語の構造②	接続、文のねじれ、助詞など、日本語の組み立て方を整理しよう。
4	「文法」と日本語の構造③	接続、文のねじれ、助詞など、日本語の組み立て方を整理しよう。
5	「表記」の注意点	送り仮名や仮名遣いについて、正式な書き方を知ろう。
6	「漢字」の持つ要素①	熟語の構成や部首のもつ意味について知り、語彙を増やそう。
7	「漢字」の持つ要素②	創作漢字を作る活動を通して、漢字の部首や意味について改めて考えよう。
8	「漢字」の持つ要素③	同音異義、同訓異字、四字熟語について学び、表現の幅を広げよう。
9	「語彙」の様々な関係①	言葉の成り立ちから、類義語・対義語まで、一つ一つの言葉に注目し、その違いを知ろう。
10	前半のまとめ レポートの書き方①	これまでの振り返り。 レポートを書く際に注意すべきこと①(文体・パラグラフ等)。
11	レポートの書き方②	レポートを書く際に注意すべきこと②(出典の明記・引用の方法等)
12	「語彙」の様々な関係②	会話や文章の中で、語彙の選択がどのような効果をもたらすかを考えよう。
13	「敬語」①	尊敬語、謙譲語、丁寧語といった敬語を整理しなおし、それぞれの働きを考えよう。
14	「敬語」②	敬語の正しい使い方を学ぶことで、日本社会で求められている「言葉遣い」を知ろう。
15	まとめ	これまで学んできたことを振り返ろう。

定期試験	筆記試験(持ち込み不可)
授業時間外学習	授業を受講した後は、教科書やノートを見直して復習しましょう。
評価方法	授業貢献度50%(小テストを含む) 試験50%
使用する教科書(必ず購入してください)	必要に応じてプリント・ワークシートを配布します。 参考書も必要に応じて紹介していきます。
参考文献	